

児童発達支援	公表	事業所における自己評価総括表
--------	----	----------------

○事業所名	むかわ町こども発達支援センター穂別きらり			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日 ~			R7年9月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5(71.4%)
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日 ~			令和7年9月19日
○従業者評価有効回答数		5	(回答者数)	5(100%)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年度10月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・早期からの受け入れ体制があること ・関係機関との連携・情報共有がとれています	・関係機関との連携や情報の共有がでていています。関係機関のそれぞれの立場から保護者の方を支えるように取り組んでいます。	・お子さんのライフステージに伴う、切れ目のないスムーズな移行支援を目指します。
2	・お子さんや保護者の方のニーズや課題を受け止め、客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しています	・必ず保護者の方と対面で面談させていただくこと、日々の療育や保護者からの情報により課題を分析しています。それらを元に計画を作成しています。	・職員間で、情報共有を行いアドバイス等できる機会を設定しています。また、関係機関の方々にもアドバイスをいただける機会を設定できるよう努めます。
3	・保護者の方・きょうだい同士が交流する機会を設けています。	・『きらりの会』や『親子戸外療育』など、交流する行事の企画・運営を行っています。	・保護者会の新たな良い形を皆で模索しています。 ・行事については、保護者の方が選べる形を考えていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会の不足	・当事業所を利用しているお子さんのほとんどが近隣の園に通園しており、移行支援のに重きを置いて取り組んでいます。 ・当事業所の開放日を設定していますが、在宅養育をされている家庭が少なくなってきたと感じています。	・開放日事業の周知を近隣の園や子どもに関わる施設にも広め伝えていこうと思います。
2	・通信・ホームページ・SNS等発信されているかよくわからない。	・毎月通信を発行している。自己評価をホームページに掲載しています。	・毎月通信を発行しており、周知方法としてSNSの活用などを検討していきたいと思います。また、新たなアプリの導入も検討しているところです。 ・自己評価はホームページに掲載、事業所玄関にも掲示しているので案内していきます。
3	・第三者の外部評価に至っていない	・個人情報管理を厳重にしなければならない事業所であり、第三者として評価をお願いする方の選出に苦慮しています。	・第三者委員として2名の民生委員の方にお願いをしています。民生委員の方が定期的に視察に来られており、今後チェック機能もお願いしていきたいと思います。